

資料 3

地下水位上昇抑制対策について

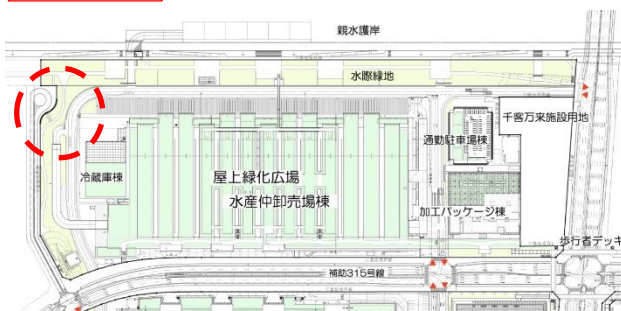
地下水位上昇抑制対策について

1 概要

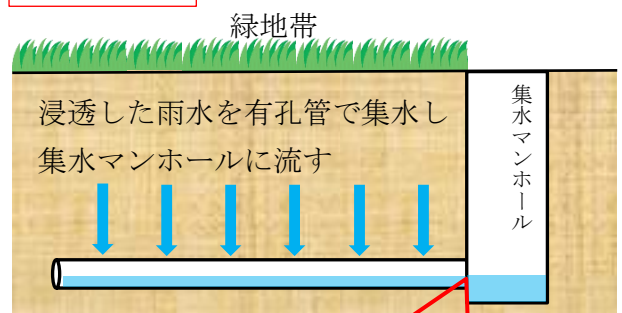
豊洲市場の地下水位は、地下水管理システムにより適切に管理されているが、大型台風等の際には、植栽帯など一部区域で一時的に地下水位が上昇することから、現在、ウェルポイント工法などにより、当該箇所の水位を低下させている。

これまで明らかになったこうした区域毎の地下水位変動の特徴等を踏まえ、より効率的に地下水管理を行うため、まず6街区の一部で地下水位上昇抑制対策を試行した。

対策箇所



対策概念図

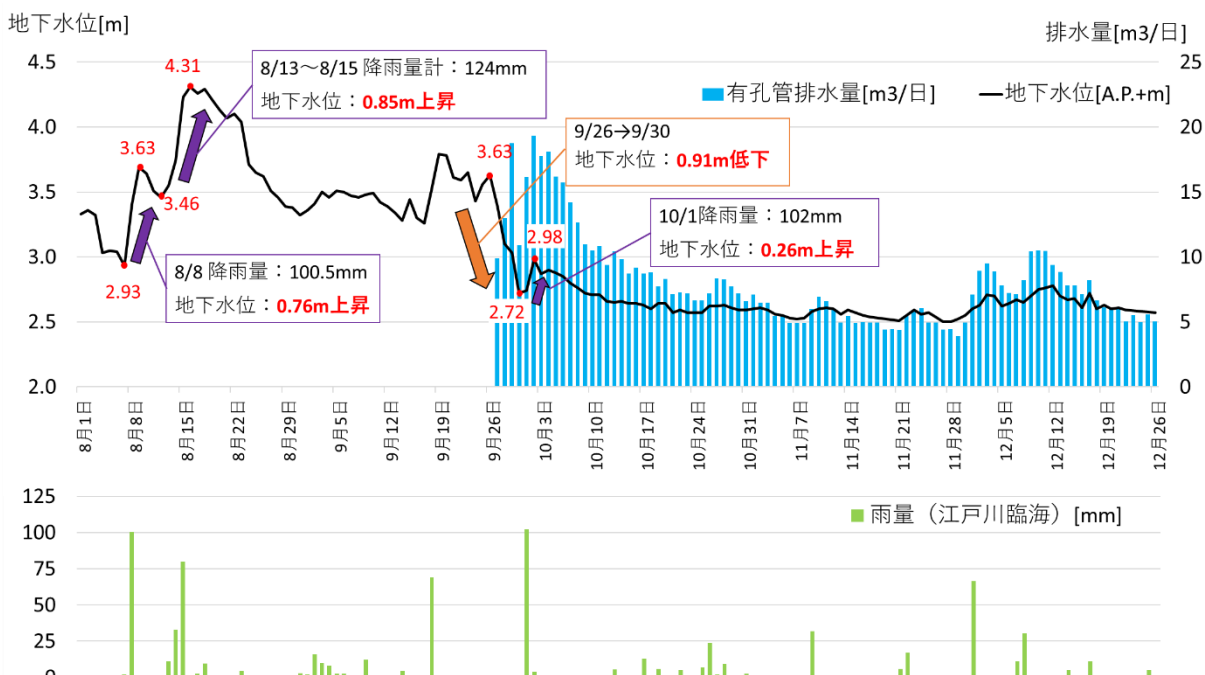


2 検証報告

大雨時（雨量約 100mm）における水位上昇幅を比較したところ、有孔管敷設後（10月）の方が敷設前（8月）よりも上昇幅が抑えられ、降雨時における水位上昇を抑制する効果が今回確認された。

また、有孔管敷設後、観測井戸6-①の水位は、運用開始後の最初の4日間で約1m低下しており、高い集水能力を有することも今回確認された。

引き続き、モニタリングを継続していく。



※今回の検証に当たって、8月から有孔管近傍（6-①）の地下水位計測を行った。